

式 辞

春が馬車に乗って 満開の桜を連れてやってきました。

校長の武井正明と申します。今日という日を待ちに待っておりました。

ようこそ、歴史深い「西蒲の雄」吉田中学校へ。素晴らしきこのよき日、196名の皆さんが入学され、ようやくすべての教室が吉中生で埋まり、また本来の活気あふれる吉田中学校が戻ってきました。



ご入学、心よりお祝い申し上げます。

本日はご多用な中、燕市議会議員 田澤 信行 様始め、

13名の来賓の皆様からご臨席いただきました。本当にありがとうございます。

今、晴れて吉田中学校の一員となった皆さんの気持ちはいかがでしょうか。

これから始まる未来への大きな期待と、新たな世界に踏み出す不安とが入り交じっていることでしょう。

吉田中学校は、4つの小学校が集まった学校です。特に入学当初は、4つの文化がぶつかり合います。そしてそれは、次第に吉田中学校の、ひとつの学年の、そして全校のオリジナルのカラーになっていきます。様々な個性が、鮮やかな色となって爆発するそのパワーは、どの学校も及ばないと自負しています。ただ、そこにいくまで、それ



相応の時間を要することは、吉中教職員の承知しているところです。保護者の皆様にも、その点をぜひご理解ご協力いただき、温かい目で見守っていただければ幸いです。

私が皆さんに、人生の先輩として、伝えたいことがあります。

それは、金持ちか貧乏か、男性か女性か、学歴が高いか低いかで人を判断しないということです。美しい生き方とは、いつ、どこで、誰にでも、同じ態度で人と接する生き方だと、私は確信しています。

そして、あなたたちには本当に正しいもの、大切なものは何なのかを見極める眼を養ってほしいのです。

それは恥ずかしながら、自分の生活に関わってくるようになってきて、ようやく世界の、中東の情勢を深く考えるようになった、私自身の反省からです。

大袈裟ではなく、これからの我が国を正しい方向に



導いていくために、私は君たちに、人に勇気を与える言葉を持つ人になってもらいたい。そしてまた、常に自分を謙虚に反省し、過ちは率直に改めることを迷わない人になってほしいのです。

皆さんが思い出いっぱいの中学校生活を送れるように、私たち吉田中学校の教職員は一丸となって皆さんを支援していくことを、お約束いたします。



保護者の皆様、本日はお子様の新たなステージを迎えられ、感無量のことと存じます。これからの三年間は、人生において人格形成の大事な三年となります。私たち教職員とともに、力を合わせ、一人一人の人生の応援団として、頑張っていきましょう。

在校生の皆さん、吉中の先輩として、温かく迎えてあげてください。そして「学ぶ吉中 鍛える吉中 心の吉中」を合言葉に、全校551名、仲良く、歩みを進めていきましょう。



新入生の皆さんを含めた吉田中の全校生徒、そしてこの会場のすべての皆様にとって、実り多き一年になりますようお願いして、式辞とさせていただきます。

令和8年4月9日

燕市立吉田中学校 校長 武井 正明